

平成 29 年度

# 図書館の概要



酒田市立図書館

## 目 次

第1	市立図書館の沿革	1
第2	平成29年度 図書館の運営方針及び重点施策	6
第3	平成29年度 図書館の事業実施計画概要	7
第4	組織・機構	13
第5	酒田市図書館協議会委員	14
第6	酒田市立図書館の予算	
	1. 年度別当初予算（図書館費）の推移	15
	2. 図書購入計画	16
第7	施設の状況	19
第8	所蔵資料	
	1. 図書資料の状況	21
	2.3 各館蔵書内訳、中央図書館開架・閉架蔵書内訳	22
	4 雑誌	23
	5.6 新聞、その他	24
第9	光丘文庫所蔵指定文化財・所蔵書	25
第10	利用の状況	
	1. 図書館利用状況	29
	2. 利用状況の推移	33
第11	平成28年度 図書館の事業の実施状況について	34
第12	年次別人口の推移	43
(参考資料)		
	酒田市立図書館設置条例	44
	酒田市立図書館設置条例施行規則	47
	酒田市ひらた図書センター管理運営規則	50
	資料の選定及び収集に関する要綱	51
	酒田市立図書館図書等の寄贈に関する取り扱い要領	52
	酒田市立図書館資料の処分に関する要綱	53
	酒田市立図書館除籍候補資料選定基準	54
	酒田市立図書館資料相互貸借実施要綱	55
	東北公益文科大学との図書館資料の相互利用等に関する覚書	56
	酒田市立図書館複写サービスについて	57

## 第1. 市立図書館の沿革

- 明治34年10月 「酒田書籍購読会」が酒田尋常高等小学校（琢成小学校の前身）内に発足する。
- 〃 37年 4月 酒田書籍購読会を「酒田文庫」と改称する。
- 〃 40年12月 1日 飽海郡会議事堂内に酒田文庫縦覧所を設置する。
- 〃 41年12月 1日 飽海郡会議事堂附属建物に酒田文庫縦覧所を設置する。
- 〃 42年12月 酒田文庫を「私立酒田図書館」と改称する。
- 〃 43年 2月17日 文部省より私立酒田図書館の設立認可を得る。
- 大正 3年 4月 郡会議事堂改築のため、私立酒田図書館を本町の旧電気作業所跡に移転する。
- 〃 10年 2月 私立酒田図書館を海晏寺境内の瑞泉庵に移転する。
- 〃 12年 6月 1日 本間家八代目当主本間光弥氏より文庫建築費、維持基金、歴代の集書提供の申入れがあり、「光丘文庫（ひかりがおかぶんこ）」の設立が決定する。
- 〃 〃 12月28日 財団法人光丘文庫の設立認可を得る。初代光丘文庫長に荒木彦助氏、常務理事に白崎良弥氏が就任する。
- 〃 14年 3月28日 私立酒田図書館が全蔵書を光丘文庫に寄贈して解散する。
- 〃 〃 9月30日 森山式鉄筋コンクリートブロック社殿造り二階建の本館及び三階建書庫が竣工する。
- 〃 〃 10月14日 東宮殿下（昭和天皇）行啓に伴い、光丘文庫を訪れる。
- 昭和 2年 6月11日 飽海郡読書会を付設する。
- 〃 3年 3月29日 光丘文庫長に白崎良弥氏就任する。
- 〃 〃 11月23日 光丘文庫に大礼奉祝記念郷土参考室（郷土博物館）を付設する。
- 〃 〃 〃 25日 光丘文庫に荘内博物学会を付設する。
- 〃 4年 3月11日 光丘文庫に荘内盲人点字読書会を付設する。
- 〃 10年 2月14日 光丘文庫所蔵の紙本墨書『大般若経巻第四百七十三』が、国の重要美術品に認定される。
- 〃 13年 4月24日 光丘文庫創立十五周年記念事業として「酒田文化協会」を付設し、同年6月から月刊『文庫』を発刊する。
- 〃 16年12月 7日 酒田文化協会の解散に伴い、会報『文庫』第41号をもって廃刊する。
- 〃 21年 7月29日 光丘文庫常務理事に山田与太郎氏就任する。
- 〃 22年 6月10日 光丘文庫長に本間祐介氏就任する。
- 〃 25年 1月 9日 光丘文庫が特許公報類の地方公開閲覧施設として、『特許公報』・『実用新案公報』・『意匠公報』・『商標公報』・『審決公報』・『特許庁公報』等を受領し、配架する。

- 昭和25年 4月 1日 財団法人光丘文庫の建物及び蔵書の一部を借りて、「酒田市立図書館」を設置する。初代館長に村田敏雄氏が就任する。
- // 28年 8月31日 財団法人光丘文庫所蔵の典籍松森胤保著『両羽博物図譜』全59冊が県有形文化財に指定される。
- // 33年 3月25日 財団法人光丘文庫は建物及び蔵書等を酒田市に寄付し、その事業を酒田市に引き継いで解散する。
- // " 4月 1日 酒田市立図書館の名称を酒田市立光丘図書館（こうきゅうとしょかん）に改称する。館長は佐藤公太郎氏。
- // 35年12月21日 大川周明旧蔵書の寄贈を受ける。
- // 36年 8月 3日 伊藤吉之助旧蔵書の寄贈を受ける。
- // 38年 3月 9日 光丘図書館所蔵の蔵書が市有形文化財に指定される。

・ 典籍『進藤重記自筆本 出羽一国御絵図』	1舖
・ 典籍『松平武右エ門叢書 庄内藩古記録』	193冊
・ 典籍『亀ヶ崎足軽目付 御用扣』	8冊
・ 典籍『菊池公巖自筆本 一念多念証文憲章』	2冊他2編
・ 典籍『常世田長翠自筆本 長翠句集』	2冊
・ 典籍『池田玄齋自筆本 弘采録』	139冊
・ 典籍『池田玄齋自筆本 病間雑抄』	72冊
・ 典籍『伊藤鳳山自筆本 孫子詳解』	5冊
・ 典籍『松森胤保著 松森文庫』	41部128冊
・ 古文書『野附七郎右エ門著 野附文書』	121冊
・ 歴史資料『明暦の酒田町絵図』	1枚
・ 歴史資料『中山高陽書簡』	1幅
・ 歴史資料『生駒大飛筆 酒田大震災実況図』	1巻
・ 歴史資料『最上川御歌付 東宮台臨之処』	対幅

- // 40年 2月 3日 光丘図書館所蔵の蔵書が市指定文化財に指定される。

・ 典籍『徳川光圀編 大日本史写本』	38冊
・ 書跡『伊東不玉筆 俳諧附合』	1幅

- // 40年 6月 1日 図書館報『光丘』（ひかりがおか）を創刊する。
- // 42年 6月 1日 図書館報『光丘』を（こうきゅう）に改称する。
- // 48年 9月 1日 国文学研究資料館による国書のマイクロフィルム撮影を開始する。

- 昭和48年 7月20日 光丘図書館第二書庫が竣工し、特許関連書類を配架する。
- “ 50年 7月21日 子ども読書室として光丘図書館分室を琢成小学校旧校舎内に開設する。
- “ 53年 3月20日 光丘図書館屋根全面葺替工事（銅板）が竣工する。
- “ “ 4月 1日 光丘図書館所蔵の古典籍及び漢籍の目録作成のため整理調査を開始する。
- “ “ “ 17日 光丘図書館所蔵の博物関係参考資料を酒田市立資料館に移管する。
- “ 55年 8月15日 石原莞爾旧蔵書の寄贈を受ける。
- “ 57年 3月31日 酒田市総合文化センターが中央西町2-59の旧琢成小学校跡地に竣工する。
- “ “ 4月 1日 酒田市総合文化センター内に「酒田市立中央図書館」を設置する。
- “ “ 4月 1日 市立光丘図書館を「酒田市立光丘文庫（こうきゅうぶんこ）」に改称する。
- “ “ 9月17日 伊東家文書の寄贈を受ける。
- “ 58年 6月 9日 郵政省より中央図書館が盲人用発受施設の指定を受ける。
- “ “ 9月 1日 中央図書館貸出文庫を地区公民館と市街地コミュニティ防災センターに開設する。
- “ 59年 3月 1日 視力障害者へのサービスとして録音図書の貸出しを開始する。
- “ “ 6月25日 石原莞爾旧蔵書の追加寄贈を受ける。
- “ “ 7月 9日 光丘文庫三階建書庫の屋根葺替工事が竣工する。
- “ “ 11月15日 「山王森の緑を育てる会」より東屋一棟及び付帯設備一式の寄贈を受ける。
- “ 60年 3月 6日 小松家文書（酒田市土崎）の寄贈を受ける。
- “ “ 5月30日 光丘文庫書庫防火窓改修工事が完成する。
- “ 61年 3月31日 『光丘文庫所蔵漢籍分類目録』を刊行する。
- “ 62年12月 1日 光丘文庫三階建書庫に自動消火装置を設置。
- “ 63年 3月25日 光丘文庫所蔵『石原莞爾旧蔵書目録』を刊行する。
- “ “ 4月31日 『光丘文庫所蔵国書分類目録』を刊行する。
- 平成 2年 2月16日 光丘文庫所蔵典籍松森胤保著『松森文庫』41部 128冊が市文化財指定を解除され、同日付けで山形県有形文化財に指定される。
- “ 3年 4月 1日 図書館電算システム（日立図書館情報処理プログラムLOOKS-P1）導入する。
- “ “ 8月 1日 光ディスクファイルシステムHiTFiLE650EXⅡによる光丘文庫所蔵古文書及び古典籍の書誌情報や画像情報の入力を開始する。
- “ “ 9月28日 台風19号（瞬間最大風速45.9m）により、光丘文庫の屋根や窓が破損、応急修理をする。
- “ 4年 4月 1日 パソコン通信メロンネットによる中央図書館所蔵一般図書・児童図書・郷土文献等の図書案内情報の提供を開始する。
- “ “ 8月 5日 日和山公園山王森敷地内に『光丘文庫誘導案内標示板』を設置する。
- “ “ “ 31日 光丘文庫内に『文学の散歩道案内パネル』を設置する。
- 平成 4年 10月 1日 中央図書館に県立図書館市町村オンライン端末機器を設置する。

- “ “ 10月 1日 市制施行六十周年記念行事として「江戸文化フォーラム」を開催する。
- “ “ “ 29日・30日 第12回山形県図書館研究大会を酒田市総合文化センターで開催する。
- “ 12月20日 『諸家文書目録Ⅰ伊東家文書』を刊行する。
- “ 6年 1月 4日 光丘文庫にJAPIO電子特許公報（CD-ROM）検索システムを設置する。
- “ “ 2月28日 光丘文庫所蔵『大川周明旧蔵書目録』を刊行する。
- “ “ 3月28日 佐藤三郎氏コレクションの一部寄贈を受ける。
- “ 8年 3月 1日 光丘文庫本館1棟、付属家具、室内装飾品並びに建築工事関係資料一式が市有形文化財の指定を受ける。
- “ 9年 3月31日 『諸家文書目録Ⅱ田中家文書』を刊行する。
- “ 10年 8月31日 光丘文庫沿革表示板設置する。
- “ “ 9月16日 中央図書館移動書架を設置（第2書庫）する。
- “ 11年 3月31日 光丘特許公報類閲覧所（地方閲覧所）指定解除する。
- “ “ 9月 1日 光丘文庫が所蔵する新聞のマイクロフィルムによる閲覧を開始する。
- “ “ 12月 松森胤保著「両羽博物図譜」59冊デジタル化作業開始する。
- “ 12年 2月 『諸家文書目録Ⅲ尾形家文書、佐藤八右衛門家文書、坪池家文書、小松家文書、今井家文書』を刊行する。
- “ “ 3月 松森胤保著「両羽博物図譜」59冊デジタル化作業完了する。
- “ “ 8月 1日 「両羽博物図譜」デジタル画像公開開始する。
- “ 13年10月 1日 中央図書館コンピュータシステムを富士通 iLiswing21/NXに変更
- “ 14年 9月 6日 光丘文庫所蔵の典籍『松平武右エ門叢書 庄内藩古記録』4冊が市指定有形文化財に指定。
- “ “ 11月 1日 中央図書館に資料検索システム（OPAC）導入する。
- “ “ 11月21日 光丘文庫トイレ改修・本館屋根を修繕する。
- “ 15年 3月 『諸家文書目録Ⅳ小山太吉家文書、佐藤七郎兵衛家文書、関家文書、西田家文書、山田家文書』を刊行する。
- “ “ 4月25日 中央図書館内床、階段、通路にタイルカーペットを布設する。
- “ 16年 7月21日 インターネットでの図書資料予約システムが稼動する。
- “ 17年10月19日 光丘文庫所蔵の絵図が市指定有形文化財に指定。  
・歴史資料『明暦二年酒田町大火絵図（大・小）』 2枚
- “ “ 11月 1日 旧酒田市・旧八幡町・旧松山町・旧平田町が合併し『酒田市』発足する。
- “ 18年 4月22日 酒田市総合文化センター内に児童図書室を開設する。
- “ “ 5月 1日 酒田市立図書館八幡分館・松山分館を開設する。
- “ 19年10月12日 第27回山形県図書館研究大会を酒田市総合文化センターで開催する。
- “ “ 12月 1日 酒田市立中央図書館とひらた図書センター等との統合コンピュータシステム LOOKS21に変更し、同時にBDS（検知システム）を導入する。

- 平成21年11月 『諸家文書目録Ⅴ南吉田伊藤家文書』、『諸家文書目録Ⅵ漆曾根池田家文書、中吉田伊藤家文書、本間新四郎家文書』を刊行する。
- 〃 22年 1月 4日 酒田市立図書館八幡分館を八幡タウンセンター内に移転する。
  - 〃 23年 2月 酒田市子ども読書活動推進計画を策定する。
  - 〃 23年 7月10日 国文学研究資料館による国書のマイクロフィルム化終了する。
  - 〃 25年 2月 『諸家文書目録Ⅶ佐藤喜三郎家文書、大倉家文書、酒田質屋組合資料、本間武次郎家文書、加藤大弐家文書、伊原吉右衛門家文書、菅原調右衛門家文書、佐藤文吾家文書、菅原源助家文書』を刊行する。
  - 〃 25年12月 1日 図書館業務コンピュータシステムをiLiswing21に更新する。
  - 〃 28年 3月 第2次酒田市子ども読書活動推進計画を策定する。
  - 〃 28年 8月 1日 所蔵資料移転作業のため、光丘文庫の臨時休館を開始する。
  - 〃 28年11月18日 光丘文庫所蔵資料（新聞、雑誌を除く）及び同事務室の市役所中町庁舎への移転完了
  - 〃 29年 2月 1日 光丘文庫が市立図書館中町分館として文庫機能を再開する。
  - 〃 29年 3月 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画を策定する。

## 第2. 平成29年度 図書館の運営方針及び重点施策

図書館は生涯学習支援機関であり、地域の情報センターとしての役割を担っている。市民がいつでも安心して快適に利用できるように図書資料や情報の充実・整理・保存に努めるとともに、積極的な図書館サービスの充実に努め、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用拡大を図る。

### 1. 図書館機能の充実

魅力ある図書館は、所蔵資料の充実に加えて、図書館職員の働きに負う部分が多いことから、職員研修を含め、業務運営方法の改善を図る。

また、駅前再開発事業に関連した酒田コミュニケーションポート（仮称）におけるライブラリーセンターの整備については、都市デザイン課と連携して、可能な限り利用者の立場に立った実施計画の策定に努める。

### 2. 光丘文庫の保全と活用

光丘文庫が所蔵する貴重な資料を保全するため、昨年度に引き続き中町分館への資料の移転を進めるほか、これらの資料のさらなる活用を図ることを目的として、企画展示等を実施することにより、文庫としての情報発信に努める。

### 3. 子どもの読書活動の推進

平成28年度にスタートした「第2次酒田市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や保育園、関係部署等との連携により、家読（うちどく）の推進と読書手帳の活用に取り組んでいく。



### 第3. 平成29年度 図書館の事業実施計画概要

#### 1. 図書購入事業等

生涯学習の支援機関として、市民の多様な資料ニーズに応えるため図書資料や視聴覚資料の充実に努める。あわせて、レファレンス（調査・相談業務）機能の充実に努める。

〈図書購入予定〉

・一般図書等 約8,360冊 ・児童図書 約2,670冊 ・新聞、雑誌等

#### 2. 「第2次酒田市子ども読書活動推進計画」に基づく施策の推進

平成28年3月に策定した「第2次酒田市子ども読書活動推進計画」に基づく各種施策と重点施策である読書手帳の活用と家読（うちどく）を関係機関と連携しながら推進する。

##### (1) 読書手帳の活用

- ① 目的：自らの読書活動を振り返り、読書の質を高めるとともに、家族のコミュニケーションツールとして活用する。
- ② 内容：3か月児の乳児、年少から年長までの未就学児、小学生及び中学1年生に対し、酒田市版読書手帳を配布し、学校や園、家庭などで活用してもらう。

##### (2) 家読（うちどく）の推進

- ① 目的：読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう家庭での読書活動の習慣化に向け、家庭と連携し、本とふれ合う機会の充実に努める。
- ② 内容：
  - ・「家族団らんの日」に家読（うちどく）を推奨するための各種啓発活動
  - ・家読（うちどく）おすすめ本の企画展示（通年）
  - ・家読（うちどく）おすすめ本リストの発行（年3回）
  - ・家読（うちどく）だより（園児・小学生）の発行（年2回）

##### (3) 読み聞かせ出張講話

- ① 目的：読み聞かせの方法や読書活動の大切さについて理解を深めてもらう。
- ② 内容：
  - ・7月6日 酒田飽海PTA連合会母親委員長等会議（研修会）での出張講話
  - ・亀ヶ崎小、新堀小、若草幼稚園出張講話（秋頃）
  - ・その他 計6回予定

##### (4) 図書館利用申し込みカード（子ども用）の配布

- ① 目的：保護者の図書館利用を促し、子どもへの読み聞かせの動機づけとする。
- ② 内容：ブックスタート時に子ども用の「図書館利用申し込みカード」を配布することで、子ども専用の図書館利用カードを手軽に作ることができ、図書館利用のきっかけとする。

##### (5) 貸出文庫の実施

- ① 目的：保育園・幼稚園・小学校等に図書館の本を貸出し、本に触れる機会をつくり、本に親しんでもらう。
- ② 内容：貸出文庫を希望した園・小学校等の要望に応じ、図書館の本から選書し、貸出しを行う。貸出期間は2～3週間程度。

##### (6) リサイクル本の活用

- ① 目的：児童書等の所蔵が少ない園や学校等に対し、図書館で除籍となった絵本や児童書を提供することで、新たな本に触れあう機会の創出を図る。

② 内 容：園や学校等に対し、除籍しリサイクル可能となった絵本や児童書を提供する。

(7) ブックスタート事業（子育て支援課、健康課と連携）

① 目 的：絵本を通して親子がゆっくり触れ合い、赤ちゃんの言葉と心をはぐくむきっかけをつくる。

② 内 容：3か月児健康診査の際に、赤ちゃんへの読み聞かせやふれあい遊びの体験後、「ブックスタートパック」（絵本2冊等）をプレゼント。

(8) 赤ちゃんの読み聞かせ教室

① 目 的：乳児への家庭での読み聞かせをするための知識を学ぶ。

② 内 容：7か月までの乳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせやスキンシップ遊びを楽しみ、家庭での読み聞かせのコツを学ぶ。

③ 日 時：5月～3月毎月上旬開催（1回/月）、休日（1回） 全12回

④ 場 所：交流ひろば

⑤ 講 師：JPIC 読書アドバイザー※1、絵本専門士 加藤美穂子氏

(9) 読み聞かせボランティア講座

① 目 的：読み聞かせをするための知識を学ぶ。

② 内 容：学校や地域において子どもへの読み聞かせをするための知識を基礎編とステップアップ編を設けて、段階的に習得する。

③ 日 時：基礎編：5月26日 1回 実施済 参加者22人

ステップアップ編：9月26日 計2回

④ 場 所：総合文化センター

⑤ 講 師：JPIC 読書アドバイザー※1、絵本専門士 加藤美穂子氏

(10) 絵本作家講演会

① 目 的：人気絵本作家を招いたイベントを開催し、子どもの本についての知識を深め家庭での読書活動を推進する。

② 内 容：人気絵本作家による読み聞かせや実演等による親子参加型イベント

③ 日 時：9月16日（土）午前10時

④ 場 所：出羽遊心館

⑤ 講 師：絵本作家 よしなが こうたく 氏

(11) 夏休み親子手作り絵本講座

① 目 的：絵本づくりをきっかけとして本好きな子どもを育成し読書活動の充実を図る。

② 内 容：創作したお話と絵。テーマは自由。

③ 日 時：（第1回）7月23日（日）、7月25日（火）

（第2回）8月5日（土）、8月8日（火）

（予備日）8月11日（金）

土・日曜日は午前・午後で開催、他は午前のみ開催

④ 場 所：総合文化センター

⑤ 講 師：JPIC 読書アドバイザー※1、絵本専門士 加藤美穂子氏

(12) ポスター展と絵本作家サイン色紙展

① 目 的：ポスター展と色紙展を通して「こどもの読書週間」（4/23～5/12）の周知と、子どもたちに本と出会うきっかけづくりを推進する。

② 内 容：「こどもの読書週間」の過去のポスターと絵本作家の色紙の展示

③ 日 時：こども読書週間期間（4/25～5/1：会場使用可能期間のみ開催）

④ 場 所：総合文化センター モール

(13) 情報提供

- ・絵本だより（保育園、幼稚園、子育て支援センター）の発行（年4回）
- ・中・高校向けおすすめ本リスト（中学生、市内中、高校）の発行（年1回）
- ・家読（うちどく）おすすめ本リストの発行（再掲）
- ・家読（うちどく）だより（園児、小学生）の発行（年2回）（再掲）

(14) 図書館訪問・職場体験等の受入れ

市立図書館を活用した学校における読書指導の充実のため、学校と連携し、市立図書館見学の受け入れを積極的に実施する。また、中学生、高校生等の職場体験についても、図書館に対する理解を深める体験ができるよう工夫を行いながら、継続して受け入れを実施する。

3. 図書館の特性を生かした講座事業、ボランティア活動の展開

(1) 児童図書室「土曜おはなし会」

- ① 目 的：子どもへの絵本等の読み聞かせにより、豊かな感性を養う。
- ② 内 容：読み聞かせ、紙芝居、手遊び等
- ③ 日 時：毎月第1・第3土曜日 11時～11時30分 計24回
- ④ 講 師：ボランティア団体：第1土曜日 あさの葉会  
第3土曜日 絵本の部屋

(2) 読み聞かせボランティア講座（再掲）

- ① 目 的：読み聞かせをするための知識を学ぶ。
- ② 内 容：学校や地域において子どもへの読み聞かせをするための知識を基礎編とステップアップ編を設けて、段階的に習得する。
- ③ 日 時：基礎編：5月26日 1回 実施済 参加者22人  
ステップアップ編：9月26日 計2回
- ④ 場 所：総合文化センター
- ⑤ 講 師：JPIC 読書アドバイザー<sup>※1</sup>、絵本専門士 加藤美穂子氏

## 4. 雑誌スポンサーの募集

平成27年3月から募集開始。

平成29年6月現在、7社（11誌）から提供をうけている。

雑誌スポンサー(実績)

H29年6月時点

No.	企業名	雑誌名	発刊	29年度 スポンサー毎 購入冊数	29年度 スポンサー毎 購入金額
1	株式会社 トー屋	栄養と料理	月刊	14	8,240
		オレンジページ	隔週		
		クロワッサン	隔週		
2	一般社団法人子どもの読書サポート アシード	月刊クーヨン	月刊	3	2,100
3	株式会社新和設備	月刊 旅の手帖	月刊	3	1,862
4	株式会社上州屋	月刊 釣り東北	月刊	3	2,850
5	パイプ・ラインエンジニアリング株式会社	月刊 サライ	月刊	3	6,470
		月刊 庄内小僧	月刊		
6	北星印刷株式会社	隔月 暮らしの手帖	隔月	4	2,561
		月刊 きょうの健康	月刊		
7	酒田飽海建設総合組合	住まいの設計	隔月	1	1,250
計				30	25,333

## 5. 展示活動等による情報提供とギャラリートーク

## (1) 光丘文庫所蔵資料常設展示

- ① 目的：光丘文庫の貴重な所蔵資料を広く市民に知っていただくため、テーマを決め紹介する。
- ② 日時：5月15日～9月22日
- ③ テーマ：「書物にみる甲冑と刀剣」
- ④ 場所：中町分館5階

## (2) ギャラリートーク

- ① 目的：光丘文庫のミニ講座として、市民の方々に気軽に光丘文庫の所蔵品、光丘文庫の事業に関心を持っていただく機会とする。
- ② 内容：学識経験者を講師に招き、テーマについて講演を行う。
- ③ 日時：9月16日
- ④ テーマ：『本間順治日々抄』  
光丘文庫企画展示「書物にみる甲冑と刀剣」に合わせて、初代本間美術館長で、日本刀研究の第一人者であった本間順治氏の人柄やエピソードについての講演。
- ⑤ 場所：総合文化センター

⑥ 講師：田中 章夫氏（本間美術館長）

(3) 中央図書館館内展示

- ・新刊図書
- ・郷土出版物案内
- ・常設企画展示
- ・定期的にテーマを変え企画展示を実施。

H29年度企画展示一覧

特集名	期間（月日）
～生誕90周年 北杜夫の世界～	～4. 19
ショートショートの神様 星新一	2. 24～4. 19
追悼 大岡信	4. 20～5. 15
母の日特集 お母さん大好き	4. 20～5. 15
鳥海山・飛鳥ジオパーク認定記念企画展（2016. 9）	4. 27～6. 4
井上ひさし展	5. 15～8. 6
アール・ヌーヴォー	5. 15～6. 4
読書感想文 課題図書＆書き方	7. 5～
自由研究・工作の本 特集	7. 5～
祝 日本遺産認定 北前船関連図書	7. 5～
以降、随時テーマを決めて開催予定	

(4) 情報提供

- ・市広報「新刊コーナー」毎月1日号
- ・ハーバーラジオ
- ・情報サイト

6. 貸出文庫の実施

- ・地域のコミュニティ防災センター等13箇所で実施している貸出文庫を継続して実施し、貸出し図書の入れ替えを定期的に行う。
- ・保育園や小学校等への貸出文庫の実施（再掲）  
貸出文庫を希望した園・小学校等の要望に応じ、図書館の本から選書し、2～3週間程度の期間、貸出しを行う。

7. リサイクル図書コーナー

中央図書館の「本のリサイクルコーナー」で、更新等により不要になった図書を、必要とする方に随時提供する。

8. 図書館ボランティア団体

- ・あさの葉会・子ども向けの紙芝居・人形劇・影絵などの製作と公演、定期公演
- ・絵本の部屋・児童図書室での紙芝居・絵本の読み聞かせ
- ・点訳ボランティア「はまなす」
- ・音訳ボランティア「風と光と」
- ・秋桜の会・朗読会の開催

9. 図書館協議会

- ・第1回 8月予定  
議題：「平成28年度事業報告」、「平成29年度図書館事業計画」等
- ・第2回 2月予定  
議題：「平成29年度実施状況」、「平成30年度運営方針、予算要求状況」等

10. 図書館報「光丘」発行予定

- ・第151号： 8月1日
- ・第152号： 2月1日

11. 点字読書会

- 役員会：4月24日（月）
- 総会：6月25日（日）
- 研修会：1回目 6月25日（日）松山文化伝承館、眺海の森 森林学習展示館見学  
2回目 10月頃予定

12. 光丘文庫所蔵資料移転

28年度に引き続き、光丘文庫所蔵資料（新聞、雑誌）を中町分館に移転する。移転作業に伴い、中町分館は平成29年9月25日～平成29年12月28日まで臨時休館する。

13. 酒田駅前再開発事業（ライブラリーセンター）

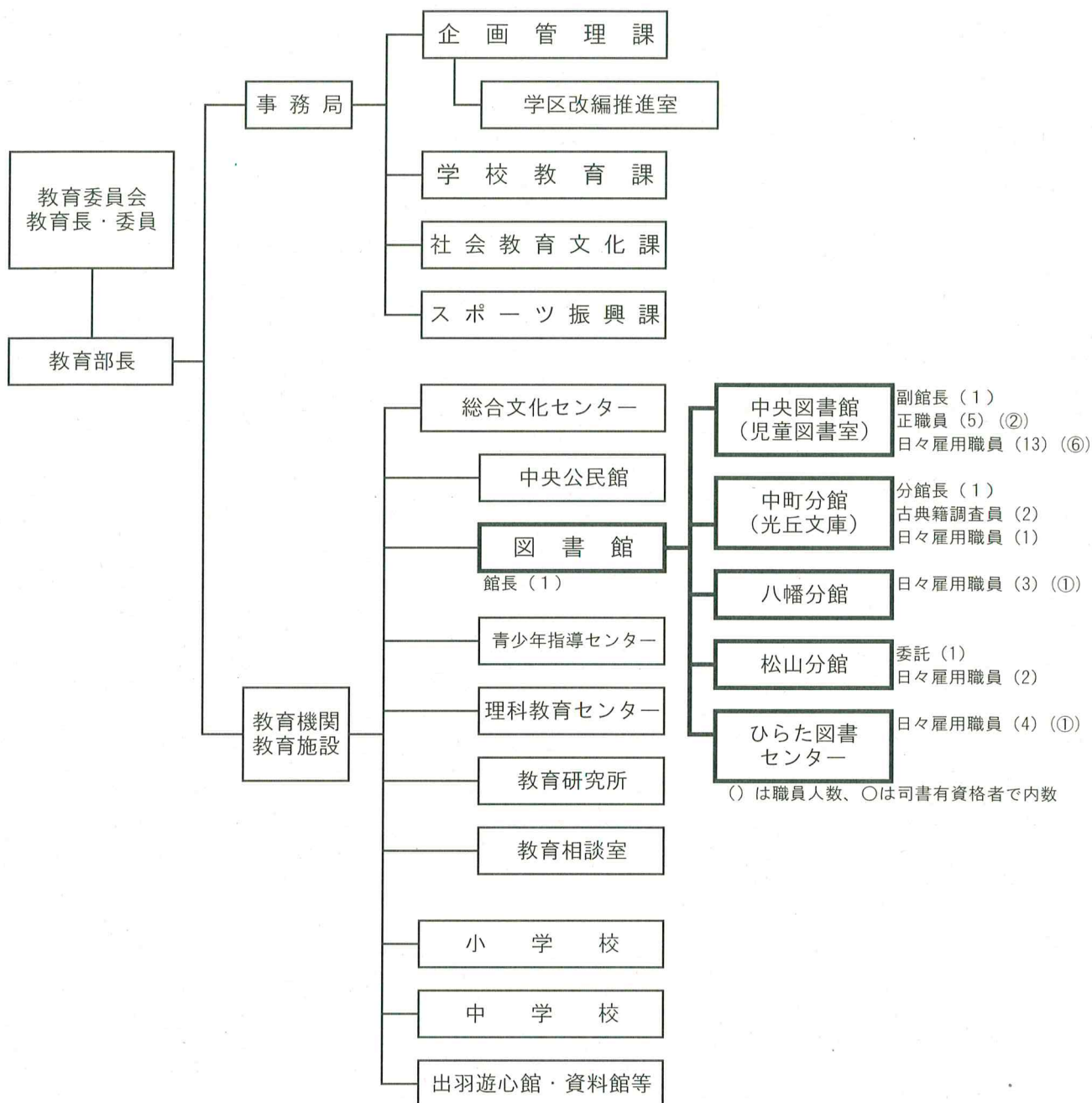
酒田コミュニケーションポート（仮称）におけるライブラリーセンターの整備について、都市デザイン課と連携し、29年度に実施計画を策定する。

※1 JPIC：一般財団法人 出版文化産業振興財団（Japan Publishing Industry Foundation for Culture の略称）

第4. 組織・機構

1. 教育委員会組織・機構

平成29年4月1日現在



2. 図書館職員配置

	館長	副館長	中央図書館・児童図書室	八幡分館	松山分館	ひらた図書センター	光丘文庫(中町分館)	計
館長	1							1
文庫長							1	1
副館長		1						1
古典籍調査員							2	2
正職員			5 (②)					5 (②)
日々雇用職員			13 (⑥)	3 (①)	2	4 (①)	1	23 (⑧)
委託					1			1
計	1	1	18 (⑧)	3 (①)	3	4 (①)	4	34 (⑩)

兼務職員は除く